



**Prop**  
安全と安心

**墜落を感知しエアバッグが開きダメージを吸収!**



グッドデザイン賞受賞



センサー感知後  
**約0.2秒**



**フルハーネスと併用できます**



しゃがむ



とぶ

のびる



ころがる



はしる



# 高所・低所からの落下衝撃を吸収！ 人体へのダメージを軽減します。

墜落防止はいつ起こるかわかりません。  
最新のセンサ技術とエアバッグ技術によって  
その一瞬の出来事から、あなたを安全に守る  
まったく新しい安全用品、それが”いつも”です。

センサーは自由落下を  
感知して作動します。

墜落を感知するとエアバッグが  
開きます。墜落以外でジャンプ  
したり転倒した場合には開きま  
せんので日常的な作業は安心  
して行えます。

瞬時に開くエアバッグ。

エアバッグはインフレーターから  
送り込まれガスによって瞬時に  
膨らみ、写真のように頭部、  
頸椎、脊椎、背骨、腰部を守る  
ようになっています。そのスピー  
ドは、落下をセンサが感知し  
てから約0.2秒！



写真はエアバッグが開いた状態です。

## 落下テスト

スタントマンを使っての  
エアバッグ作動の様子



センサ



インフレーター

## 仕様

・質量/1,650g ・電源/アルカリ乾電池単三型2本 電池寿命/単三2本で200時間 ・作動温度/0℃～40℃

## 落下テストの衝撃値 100kgのダミーによる落下試験

公益社団法人産業安全技術協会における実験データ

最大加速度		高さ	1m	1.5m	2m
		m/s <sup>2</sup>	1,067	1,081	1,358
エアバッグなし	G	109	110	139	
	HIC	402	427	744	
	m/s <sup>2</sup>	336	473	608	
エアバッグあり	G	34	48	62	
	HIC	83	163	240	
	m/s <sup>2</sup>	336	473	608	

※落下条件/水平仰向けでダミーを落下（最も不利な落下姿勢で試験による）。  
保護帽（墜落時保護用のもの）を常時使用。

## 衝撃の評価について（2輪車用安全帽の基準……J | S）

人体に与える衝撃力の影響は、人間のどこにどんな衝撃が加わるかということで異なるが、特に生命への影響に関しては頭部にかかる衝撃が一番重要である。その衝撃の大きさの評価には、衝撃加速度の波形を見る必要があり、自動車関係ではその波形をもとにHIC（Head Injury Criteria）というものを計算しているが、これは衝撃加速度の大きさに重み付けをした面積（平均衝撃加速度×持続時間）である。

この評価を簡略化する場合には、最大衝撃速度の大きさと衝撃の持続時間を見れば良く、JISの乗車用安全帽、自転車用安全帽ではこの方式を採っている。

	乗車用A種	乗車用A・C種	自転車用
最大衝撃加速度	3920m/s <sup>2</sup>	2940m/s <sup>2</sup>	2940m/s <sup>2</sup>
1960m/s <sup>2</sup> 200G以上の持続時間	2ms以下	—	—
1470m/s <sup>2</sup> 150G以上の持続時間	4ms以下	4ms以下	4ms以下

## 製造元

株式会社 **プロップ**

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1丁目9番16号  
日東ビル9階  
TEL.03-5822-1888 FAX.03-5822-1555  
<http://www.prop-g.co.jp>